

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成22年7月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年7月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 168社 回答 156社 回答率 92.9%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	20社 12.9% (19.5)	28社 18.1% (22.1)	54社 34.8% (31.2)	35社 22.6% (14.9)	18社 11.6% (12.3)	155社	29社 19.5% (21.9)	15社 10.1% (14.6)	43社 28.9% (21.9)	29社 19.5% (18.5)	33社 22.1% (23.2)	149社
売上高	17社 10.9% (18.8)	29社 18.6% (20.8)	56社 35.9% (35.1)	36社 23.1% (13.6)	18社 11.5% (11.7)	156社	34社 22.5% (22.4)	16社 10.6% (17.8)	37社 24.5% (18.4)	29社 19.2% (19.1)	35社 23.2% (22.4)	151社
在庫数量	4社 2.7% (4.0)	25社 16.8% (20.7)	74社 49.7% (50.0)	39社 26.2% (19.3)	7社 4.7% (6.0)	149社	11社 7.6% (10.2)	17社 11.8% (9.5)	52社 36.1% (33.3)	30社 20.8% (21.8)	34社 23.6% (25.2)	144社
販売単価	3社 2.0% (0.7)	30社 19.9% (24.5)	77社 51.0% (55.6)	38社 25.2% (17.2)	3社 2.0% (2.0)	151社	14社 9.7% (9.6)	42社 29.0% (24.0)	42社 29.0% (33.6)	31社 21.4% (20.5)	16社 11.0% (12.3)	145社
収益状況 (粗利)	6社 3.9% (9.1)	13社 8.4% (18.2)	76社 49.4% (44.8)	40社 26.0% (16.9)	19社 12.3% (11.0)	154社	26社 17.4% (19.6)	24社 16.1% (18.2)	43社 28.9% (27.7)	33社 22.1% (17.6)	23社 15.4% (16.9)	149社
稼働率 (生産・加工設備)	2社 1.7% (6.7)	17社 14.3% (19.3)	60社 50.4% (46.2)	30社 25.2% (15.1)	10社 8.4% (12.6)	119社	13社 11.3% (16.7)	21社 18.3% (17.5)	40社 34.8% (27.2)	22社 19.1% (19.3)	19社 16.5% (19.3)	115社
入出庫の トラック台数	0社 0.0% (5.5)	21社 14.2% (19.3)	85社 57.4% (49.0)	30社 20.3% (18.6)	12社 8.1% (7.6)	148社	10社 7.0% (10.6)	24社 16.9% (16.2)	59社 41.5% (36.6)	27社 19.0% (19.7)	22社 15.5% (16.9)	142社
現在の景況感	1社 0.6% (0.7)	4社 2.6% (4.6)	50社 32.5% (32.7)	43社 27.9% (22.9)	56社 36.4% (39.2)	154社	6社 4.1% (5.6)	22社 14.9% (15.4)	38社 25.7% (25.9)	30社 20.3% (20.3)	52社 35.1% (32.9)	148社
3ヶ月後の 景況予測	1社 0.7% (0.7)	11社 7.2% (3.9)	45社 29.6% (33.6)	43社 28.3% (27.0)	52社 34.2% (34.9)	152社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（7月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① エコ減税を受け、直近の自動車向け受託加工は好調を維持している。その中で、縮小し続ける市中マーケットは存亡の危機を迎えている。リーマンショック以降の高炉、商社の支給材取り込みは小ロットの地方特約店レベル対応数量まで波及している。落穂ひろいだけでは経営は成り立たなくなる。
- ② 7月は6月同様実需が細く、8月は稼働日が少ないことも重なり、荷動き、売上ともかなり厳しい。建築関連は、一部建材用物件対応価格としてかなりの低価格が見られ、旧契約品の在庫も市中に滞留していると思われる。メッキ品も安い輸入品が散見され、値上げもユーザーの同意を難しくしている。
- ③ 東鉄の販売価格の発表により、マーケットは値下げムードとなる。高炉の7～9月の値上げ@10/Kgもトーンが下がって来ている。@2～5/kgであろう。
- ④ 一部リピート製品に回復が見られるものの、建設関係需要回復の足取りが重く、荷動き低迷の長期化を懸念している。原材料価格高騰の影響により材料値上げ実施も、市況軟化およびスクラップ価格下落等により、高炉系と電炉系の価格政策は異なり、混乱を感じる。
- ⑤ 需要は依然として良くない。在庫は需要見合いで過剰感はない。また、在庫価格の大半が高い新価格に切り替わっており、流通にとっては安く売れない状況にある。需要低迷との綱引きで当面横這いで推移すると思う

中板

- ① 7月の販売量は前月比増加も、6月が予想以上に悪すぎた感あり。需要低迷が続いている中、東京製鐵の連続値下げは、市況を下押しするインパクトが強く、高値のコイルが入荷しており、赤字幅が大きくなっている。今年度に入り、高炉メーカーの大幅値上げに対し、電炉メーカーのここ2ヶ月の大幅値下げは流通にとって舵取りが困難になっている。当面、需要回復が期待できない中、売り焦りから安値販売競争が目立っており、手の打ちようがない状況。早急に現在庫を調整していくことに注力していく。

厚板

- ① 山積みが高かった前月に比べると、橋梁の山積みが低く、また、切板明細の遅れもあり大幅に減少した。本年度入札の鋼材発注が始まる年末頃までは、現状の低い橋梁の山積みの基調は変わらない。稼働率は100%ではないが、数量的には首都圏の再開発関連の鉄骨が支えている状況である。厚板は、引き続き好調な輸出や建機の回復によりタイトであり、価格も値上がりしている状況であるため、一時的には店売りにも動意があったが、相変わらず中小建築関連を中心に内需が低調であり、時期的な要素も加わって、現時点では引合いは余り活発ではない。

一般開形鋼

- ① 5月から6月にかけての荷動きの異様な落ち込みの説明がつかず1ヶ月を経過したが、本日の日経夕刊の一面に「鋳工業生産4ヶ月ぶり低下。6月1.5%マイナス。足踏みの動きも」の見出しが躍って納得した。(経産省7月30日発表鋳工業生産指数改定値) 今月前半の好調な荷動きにより前月比、前年同月比の調査項目は総じて好転したが、まだ稼ぎが足りないのが実態である。しかし、浦安団地経済と日本経済は、これほど密接な動きをするものなのか。

I-I開形鋼

- ① 相変わらず需要不足は変わらない。耐震補強の物件が少しあるようだが、建築物件は少ないようである。ただ、東鉄の物件価格の引き上げや海外の変化で、そろそろ下げ止まりの感じは出つつある。
- ② 昨日の関東鉄源入札価格が、前月比約2円/Kg強アップで、今後、国内スクラップも上昇するだろう。H形鋼メーカーも販価を上げる可能性があるなので、弱含んでいた市況も底を打つのは間近いであろう。

平鋼

- ① 建築需要きびしく、量は低位安定。価格も若干弱含み。

異形棒鋼

- ① 鉄筋は5月連休明け以降、東鉄の2回の値下げとともに現在でもじり安。スクラップから見て値ごろ感はあるが、盆明けのメーカーの出方次第。

構造用鋼

- ① 店売りを中心とした動きは、建機関連および工作機械関連の復調を受けて、回復基調となっており、今後も同基調が続くと思われる。メーカーの店売り値上げ(一次分)に伴い、6月より販売価格の引き上げを実施しており、市況は上伸している。
- ② 自動車、建機関連は好調を維持している。工作機械も微増傾向にあるが、まだ国内向けは低調。価格は7月より値上げを実施。強含みで推移。

その他

<曲げ加工>

- ① 前月より少しまとまった受注が多かったが、まだ全般的に受注量少なし。今後、現在より少し動き出すか。

<スクラップ>

- ① 6月より微量であるが発生量増加。自動車関係の数量が増える。

<金属表面処理加工>

- ① 7月は紐付、物件物とも計画通り。スポットもまとまった量で短納期発注があり、高いレベルでの処理量となる。引合い状況については、秋口以降の案件が多く、期待したい。8月は稼働日数減少分を織り込んだ上で、紐付、物件物を中心に高操業で推移しそうである。